



発掘は楽し!

三矢信昭

教職を少し早く退き、次の働き口として滋賀県文化財保護協会の技師補助員の仕事につきました。派遣先は、安曇川町三尾里の南を流れる青井川の河川改修地(上御殿遺跡)でした。

発掘の最初は、重機による耕作土の除去。遺構面(昔の人々が生活していた面)が出てくると、補助員とシルバーの人たちで、三角形の鎌を使ってその面を薄く削り取ります。すると、その面に微妙な色の違いや濃淡が現れます。それが重要なんです。でも、素人の私たちからすれば「何それ?」全く意味不明。後々の技師さんの説明で、それらが、掘立柱建物の柱穴跡・竪穴建物跡・円形周溝墓・井戸跡・ゴミ捨て場の穴跡などであることが分かってきました。

上御殿遺跡発掘調査の2年間は、珍しい物がどんどん出てきてわくわくドキドキの連続でした。湖西地域初出土の石釧(私が掘り出しました)、県下1、2を争う数の水の祭祀に関わる「い串・形代」、『守君船人』と墨書された壺、国内初の短剣の鋳型等々。



そして、昨年から再び「上御殿遺跡」の発掘が始まり、今はシルバーとしてわくわくドキドキしながら働いています。

➡ 次回は 吉田 利子さん

4月の予定表

日	曜日	相談員
1	水	★ 山田 善嗣
2	木	
3	金	★ 竹中 寛
4	土	
5	日	★ 中村真奈美
6	月	お休み
7	火	[社協]まちあかり健康づくり
8	水	★ 清水 良恵
9	木	[社協]カフェまちあかり
10	金	★ 西川 孝
11	土	
12	日	★ 加藤 幸江
13	月	お休み
14	火	[社協]まちあかり健康づくり
15	水	★ 仁賀 定夫
16	木	
17	金	★ 廣坂 吉憲
18	土	[社協]まちあかり食堂
19	日	★ 中田 國博
20	月	お休み
21	火	[社協]まちあかり健康づくり ごちゃまぜカフェ
22	水	★ 藪内 キヨ子
23	木	
24	金	★ 西川 利政
25	土	お休み
26	日	お休み
27	月	お休み
28	火	[社協]まちあかり健康づくり
29	水	お休み
30	木	お休み

お越しの際はお電話ください

【開館】火～日(月・祝休館)

【火～土 9～13時】
パソコン入力などのお手伝い
★【水・金・日 10～12時】相談日

サポートリングたかしま
高島地域住民自治協議会

高島公民館2F 図書室となり
☎090-2115-9055
[9-13時 月・祝休館]



🌐 https://srt.shiga.jp (ウェブサイト)
✉ takashima.juminzichikyou@gmail.com

区・自治会の困りごと、一緒に考えお手伝いします

サポートリング∞たかしま

高島地域住民自治協議会だより〈No.49〉

中面特集

みんなで考える これからの自治会運営



新年度を迎え、各区・自治会でも役員交代の時期となりました。皆さんの地域では、今年の体制づくりはいかがだったでしょうか。今、私たちの暮らす高島地域では、高齢化や少子化、共働き世帯の増加など、生活スタイルが大きく変わっています。その結果、昼間に在宅して役を担える人が減り、役員のなり手が見つかりにくい状況が続いています。

地域のつながりや安心感を支える大切な組織であることは誰もが理解している一方で、「今のやり方のままでは続けにくい」という声も多く聞かれます。そこで自治協では、区長・自治会長の皆さんに、現在の悩みや工夫を詳しく伺うアンケートを実施しました。今号では、その結果を特集しています。

これからの自治会運営は、区長がすべてを抱え込む形

から、役割を調整しながら進めるスタイルへと変わっていく必要があります。役割を細分化して短時間でも参加できる仕組みをつくる、回覧や連絡をグループラインで効率化する、河川愛護作業などは外部委託も選択肢にするなど、地域の実情に合わせた柔軟な工夫が求められています。

「昔の形を守ること」だけにとらわれず、時代に合った方法を取り入れることこそ、持続可能な自治会をつくる力になります。これからも皆さんと一緒に、よりよい地域運営のあり方を考えていきたいと思ひます。

負担軽減・効率化に
役立つサービスあります!



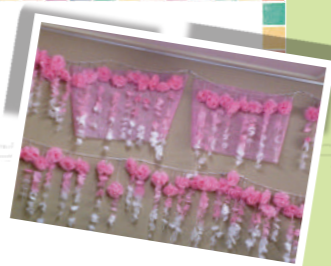
中面を
チェック!

高島地域 伝言板

花道を飾る 卒業式!

《高島学園地域学校協働本部》

高島学園では小・中学校共に、PTAは無くなりましたが、その代わりに、保護者の皆さんによる「サポーターズ」が結成されました。今回は小学校サポーターズさん45名がバザーで得た収益で、卒業式当日、廊下に飾る花々を作製して下さいました。思い出と感謝を胸に美しい花道を歩みました。卒業、おめでとうございます!!



みんなのコミュニティ まちあかり4月行事予定

《高島住民福祉ネットワーク[社協]主催》

- まちあかり健康づくり 10～11時半 7、14、21、28日 すべて(火)
- カフェまちあかり 10～11時半 9日(木)
- まちあかり食堂 11～13時 18日(土)
- ★ 20日は「ごちゃまぜカフェ(13～15時)」もあります!

[開催場所] 高島郵便局前



シンプルな暮らしと住所名

福馬 俊太郎

新連載

高島に住んで

【第1回】



よろしくお願ひします!

これから毎月、1年にわたって高島地域の魅力をお届けすることになりました。京都から移住して5年目の福馬(ふくま)です。「移住者目線」が企画のミソとのことですが、私のような高島歴の浅い者が「地域の方に、地域の魅力を伝える」というお題を預かり恐縮しています。

とはいえ、まずは自己紹介から。私は広島市出身の39才。妻と娘、ネコ2匹の家族で、黒谷に暮らしています。仕事はフリーランスで広告製作を。妻にデザインを手伝ってもらいながら、ほそぼそとやっています。移住者の少ない地域のせいか、今でも聞かれる質問が「なんで黒谷へ?」。おそらくなんで雪深い不便な地域を選んだの?という意図だと思ひます。でも実際、不便さはあまり感じません。逆に不要なものがないシンプルでステキな環境だと思ひています。

シンプルでいえば、高島地域の短い住所名も気に入っています。京都の時は37文字(京都府京都市上京区河原町通荒神口上る■■町00番地0■■■■■■0階0号)だったのが、今はたったの11文字(滋賀県高島市黒谷000)。あの呪文のように長い住所から、26文字もなくなった解放感を書くたびに感じています。こんな感じで高島に住んでいるからこそ気づくことを、移住者目線でお伝えできたらと思ひます。



みんなで考える これからの自治会運営

「高齢化時代の自治会運営」アンケート結果より

自治協議会では3年ぶりに自治会活動アンケートを実施しました。高齢化が進む中で、従来の運営を続けるには難しさがありますが、役員の負担を減らす工夫や、活動内容・方法を柔軟に見直す好機とも言え、今回のアンケートでも様々な工夫が実践されていることがわかりました。ぜひ、集まった事例を参考にすほか、既存のサービスを上手く組み合わせることで無理のない自治会運営を進めていただければと思います。

[アンケート|32の区・自治会が回答]

アンケートより 仕組みを見直して負担軽減につながった事例

GOOD!



行事の統廃合と縮小&会議との抱き合わせ

- 子供会、婦人会、自治会との合同サロンを開催。
- 住民同志の交流の場を年1回に絞り込んだ。
- 必要な行事の案内をまとめて行い、そこから選んで参加してもらえよう工夫した。夜の会議の役割もかねている。
- 日中の行事を増やし、行事の際に役員だけでなく住民を交えて(若者は休日でも夜も時間がとりにくい)意見交換するようにした。



GOOD!



役割分担を見直した

- 役員を複数人体制(2人で1人分の役)とした。
- 自衛消防隊を自治会役員で構成した。
- 配布物は会長が各組組み上げ、組長は配布のみにした。



GOOD!



書類作成や引き継ぎ方法・連絡方法を今に合った形式に

- パソコン上で書類などの引き継ぎをする。
- Googleドライブによる共同作業。
- 役員間の連絡網はグループLINEを活用。
- 訃報をLINEで速報してから詳細事項の配布することがある。



GOOD!



支所や住民自治協議会に相談する

- 外部団体の支援を活用した。
- 福祉サロンにおいて高島市社会福祉協議会の出前講座を活用した。
- 一昨年より外部団体や個人で力のある人、議員の訪問、支援をお願いしてきており、かなり改善した。自治会長の引き継ぎ後は自分もサポートする予定。



自治会運営サポート一覧

問題の解決・負担軽減に、ぜひ住民自治協議会をご活用ください

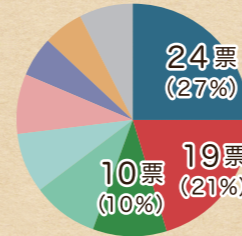
いつでも地域の活動の相談を受け付けています。お話をするなかで、解決へのヒントが見つかるかもしれません。対応できる機関・人材にお繋ぎすることも可能です。その他、利用できるサービス、お役立ち情報については右のQRコードからいつでも確認可能です。



<https://srt.shiga.jp/r704/>

今、自治会運営で困っていること

[選択式・複数回答]



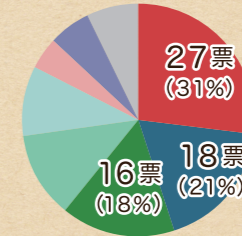
- 1 役員のなり手不足
- 2 高齢化による作業負担の増加
- 3 行事・会議の準備や運営
- 4 防災・見守りなどの地域安全活動(9票)
- 5 会計処理・文書作成などの事務作業、市役所・地域団体との調整(8票)
- 6 回覧・情報伝達の手間/苦情対応・住民間のトラブル(各5票)

その他 7票【自由記入】

高齢化と若い人の意識の低下(双方とも関わり合いたくない人が多い)/高齢者が多くなり役員免除の年令をいくつにするか/不動産に関するトラブル/空家空地等における除草問題/行政対応はあくまで形式的であり、抜本的な解決まで得られないことが多い/健康推進委員の選出(研修期間含む)

特定の役員に負担が集中している業務

[選択式・複数回答]



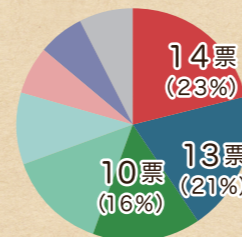
- 1 区長・自治会長の事務作業(文書作成・提出)
- 2 会計担当の業務(帳簿、領収書整理、決算)
- 3 行事の企画・準備・当日運営
- 4 回覧物の作成・配布(14票)
- 5 市役所・地域団体との連絡調整(12票)
- 6 防災・見守り活動の調整(5票)

その他 7票【自由記入】

PC作業のマニュアル・書式を作成中/連絡しても反応がない・無視のケースが多く、特定の人に負担がかかる/神社を含め募金や奉賛金の集金負担/特に3役の業務負担は致し方ないこと。当自治会の民生児童委員及び福祉委員は、精力的に活動してくれており助かっている/4、5月に業務が集中している点

役員の負担が大きい理由

[選択式・複数回答]



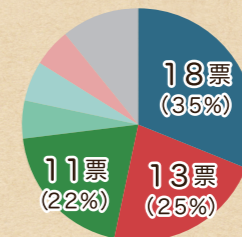
- 1 行事や業務の量が多すぎる
- 2 高齢化で作業が身体的に負担
- 3 役員人数が少ない
- 4 市役所との手続きが複雑(9票)
- 5 デジタル化が進んでおらず手作業が多い(7票)
- 6 住民の協力が得にくい(4票)
- 7 引き継ぎ資料が不十分(4票)

その他 5票【自由記入】

「面倒なので何もせずとりあえず1年過ごそう」が引き継がれてループになってきている/行事や業務に分散・デジタル化も進み特に問題なし/引継ぎファイルを作成して、今後、続けていく方向で調整を図っている/役割の分担ができていない/自治会役員の配偶者が居ない体制時の行事準備等

次期役員の選出が難しい理由

[選択式・複数回答]



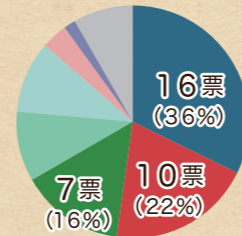
- 1 役員の負担が大きいイメージ
- 2 高齢化で担い手がない
- 3 共働きで時間が取れない
- 4 役員の仕事内容が分かりにくい/選出方法が不透明・不公平に見える/過去のトラブルや不満が影響している(各3票)

その他 6票【自由記入】

不平、不満がないように回り持ちにしています/新規転入者の自治会未加入に伴う会員数の減少/退職後や65歳を過ぎても働く方が増えているので役員等が高齢化している/若手の不参加/慣例により区長の配偶者が福祉推進委員となることから独身者が区長になりづらい/5~6人で回り持ちで運営している

役員選出の負担を減らすための改善策

[選択式・複数回答]



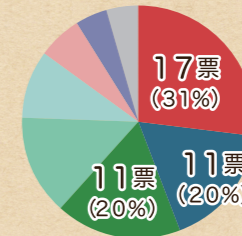
- 1 役員の業務を簡素化する
- 2 役員を細分化し、複数人で分担する
- 3 役員経験者によるサポート体制の整備
- 4 外部(住民自治協議会など)の支援を活用する/立候補制・推薦制など選出方法の見直し(各5票)
- 5 役員任期を短縮する(2票)
- 6 デジタルツールの導入(1票)

その他 4票【自由記入】

自治会員減少の防止(啓蒙と任意制の見直し)/事業の簡素化/軽減策として、現在各組2名の役員(専門部、組長)体制を構築しているが、更なる役員削減を模索中/役員を減らす

役員の負担軽減につながるサポート

[選択式・複数回答]



- 1 市役所手続きの簡素化・代行
- 2 行事運営の支援(人手・ノウハウ)
- 2 デジタル化支援(LINE、メール、会計ソフトなど)
- 4 文書作成・会計処理のサポート(9票)
- 5 住民自治協議会による相談窓口(6票)
- 6 防災・見守り活動の支援(4票)
- 7 役員研修・勉強会(3票)

その他 3票【自由記入】

・公の関連機関の土日祝対応
・清掃活動と報告業務の簡素化
・参考事例の紹介

